

II. 糖尿病の診断 (慢性的な高血糖の存在確認)

- 別の日に行った検査で、糖尿病型が再確認できれば糖尿病と診断できる、ただし、初回検査と再検査の少なくとも一方で、必ず血糖値の基準を満たしていることが必要で、HbA1c のみの反復検査による診断は不可。
- 血糖値と HbA1c を同時測定し、ともに糖尿病型であることが確認されれば、初回検査のみで糖尿病と診断できる。
- 血糖値が糖尿病型を示し、かつ次のいずれかが認められる場合は、初回検査だけでも糖尿病と診断できる。
 - 1) 口渇、多飲、多尿、体重減少などの糖尿病の典型的な症状、
 - 2) 確実な糖尿病網膜症。
- 検査した血糖値や HbA1c が糖尿病型の判定基準以下であっても、過去に糖尿病型を示した資料 (検査データ) がある場合や、上記 1)、2) の存在の記録がある場合は、糖尿病の疑いをもって対応する。

糖尿病の臨床診断のフローチャート

